

大阪公立大学 2022年度 人権週間特別講演会

感染症と人権

コロナ禍にあるわたしたちは、移動（行動）の制限、営業の制限、学業の制限などを経験し、感染症対策で人権の制限が問題になることを、実際に体験してきました。感染症対策による人権の制限については、20世紀初頭、感染力の高い腸チフスのキャリア（健康保菌者）として、23年以上も隔離され続けたメアリーのケースのように古くから知られています。また同時に、人権を尊重することが感染症対策において不可欠であることも、HIV感染症対策の歴史を通して得られた知見です。ここでは感染症の歴史を振り返りながら、公衆衛生倫理などを参照しつつ、感染症における人権の問題を考える材料を提供します。

日時：2022年12月9日（金）10：45～12：15

開催方法：オンライン講演（zoom）

※申し込み必要



大北 全俊 氏（東北大学大学院医学系研究科・
医療倫理学分野 准教授）

●● 講演者プロフィール ●●

HIV感染症の検査や相談事業への関わりを通して、感染症対策など公衆衛生について哲学・倫理学の視点から研究に従事するようになる。現在は、生命倫理・医療倫理の教育・研究に従事。1974年、大阪府生まれ。2004年に大阪大学大学院文学研究科（臨床哲学）にて博士号取得。2009年、エイズ予防財団リサーチ・レジデント（国立病院機構大阪医療センター配属）を経て、2010年に大阪大学大学院文学研究科（臨床哲学）助教、2014年に東北大学大学院医学系研究科（医療倫理学）に助教として着任、2020年に准教授、現在に至る。

【申込方法】

- 大阪公立大学、大阪市立大学・大阪府立大学の学生・教職員、一般の方：下記QRコードからお申込みください。
お申込み時に記載いただいたメールアドレス宛てに、オンライン参加用のURL等をご連絡します。
※授業振替の学生の方はQRコードを利用せず、担当教員の指示に従ってください。

【参加費】無料【定員】300名【申込締切】2022年12月2日（金）

※定員に達した場合は締切を早めることがあります

【注意事項】

- オンラインでの参加（視聴）は必ず事前にお申し込みください。
なお、参加には パソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。
- 視聴にかかる通信費等は、視聴する方のご負担となります。



主催：大阪公立大学 人権問題委員会



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University